

富山県こども政策モニター

第2回「富山県の暮らしと情報について」

アンケートの結果は以下の通りでした。
モニターのみなさん、ご協力ありがとうございました。

I 概要

(1) 調査の方法

1. 調査対象 県内の小学5年生～高校3年生（もしくは^{こうせん}高等3年生）
2. 登録者数 小学生55人 中学生77人 高校生（もしくは^{こうせん}高等生）96人 合計228人
3. 調査方法 ①郵送（インターネットで回答）
②メール（インターネットで回答）

(2) 調査時期

第2回アンケート「富山県の暮らしと情報について」
令和5年1月17日（火）～令和5年2月17日（金）

(3) 第2回アンケート回収結果

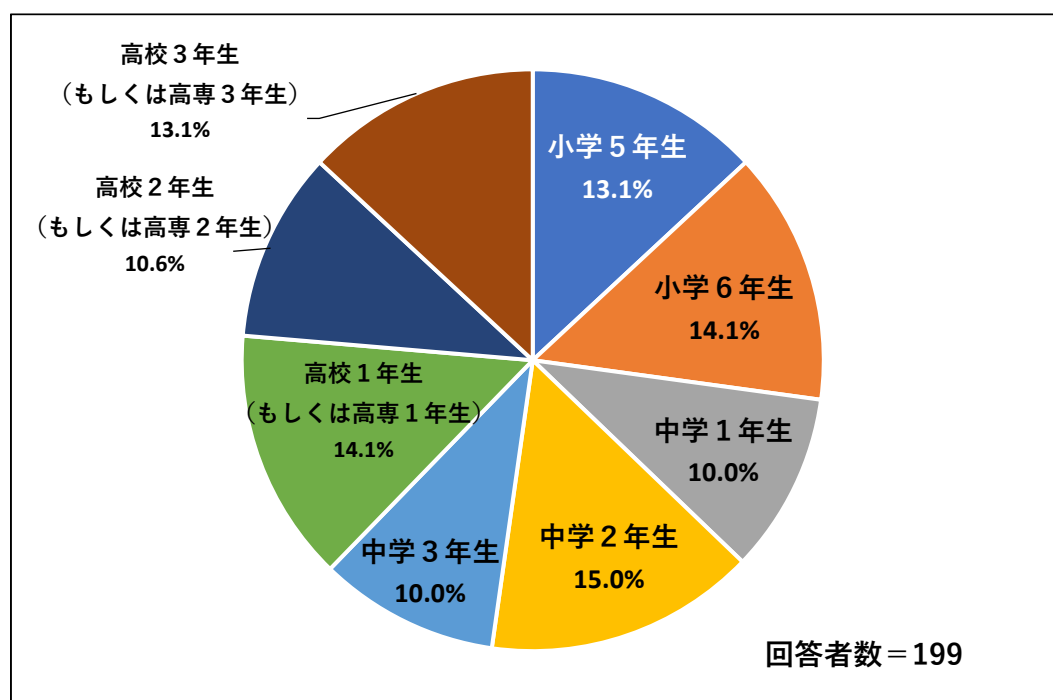
【回答者数】

小学5年生：26人	小学6年生：28人	
中学1年生：20人	中学2年生：30人	中学3年生：20人
高校1年生（もしくは ^{こうせん} 高等1年生）：28人		
高校2年生（もしくは ^{こうせん} 高等2年生）：21人		
高校3年生（もしくは ^{こうせん} 高等3年生）：26人		合計199人（回答率 87.3%）

II 回答結果（小学生・中学生・高校生）

問2. あなたの学年を選んでください。

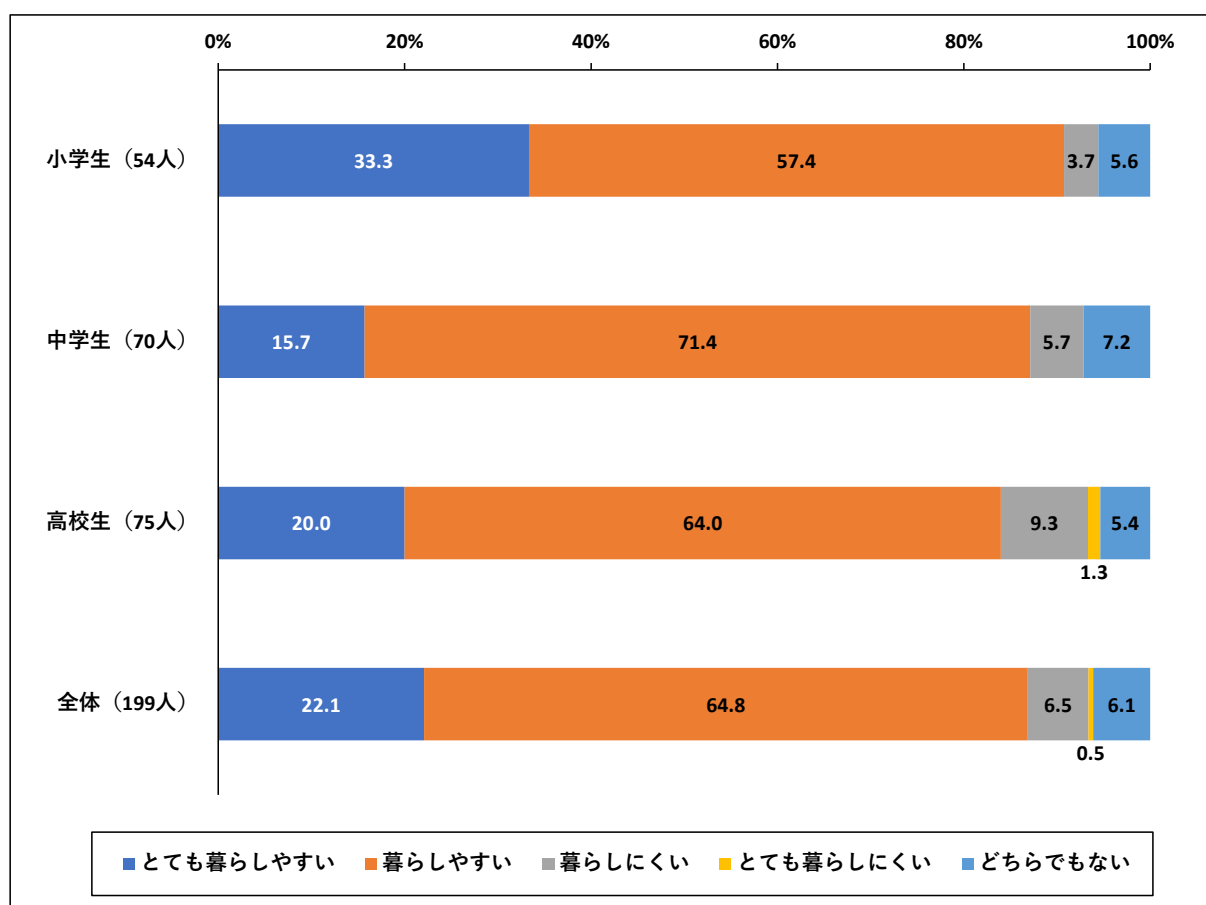
回答者は、中学2年生が15.0%と最も高く、次いで小学5年生と高校1年生（もしくは高専1年生）が同じ割合で14.1%となりました。



問3. あなたは、富山県はくらしやすい県だと思いますか。あてはまるもの1つに「○」をつけてください。

全体では「暮らしやすい」が64.8%と最も高く、次いで、「とても暮らしやすい」が22.1%となりました。「とても暮らしやすい」と「暮らしやすい」を合わせて86.9%となっており、9割近くの子どもが暮らしやすいと感じていることが分かります。

「とても暮らしやすい」と「暮らしやすい」を合わせた割合では、小学生が90.7%、中学生が87.1%、高校生が84.0%と、学年が上がるほど、割合が低くなる結果となりました。



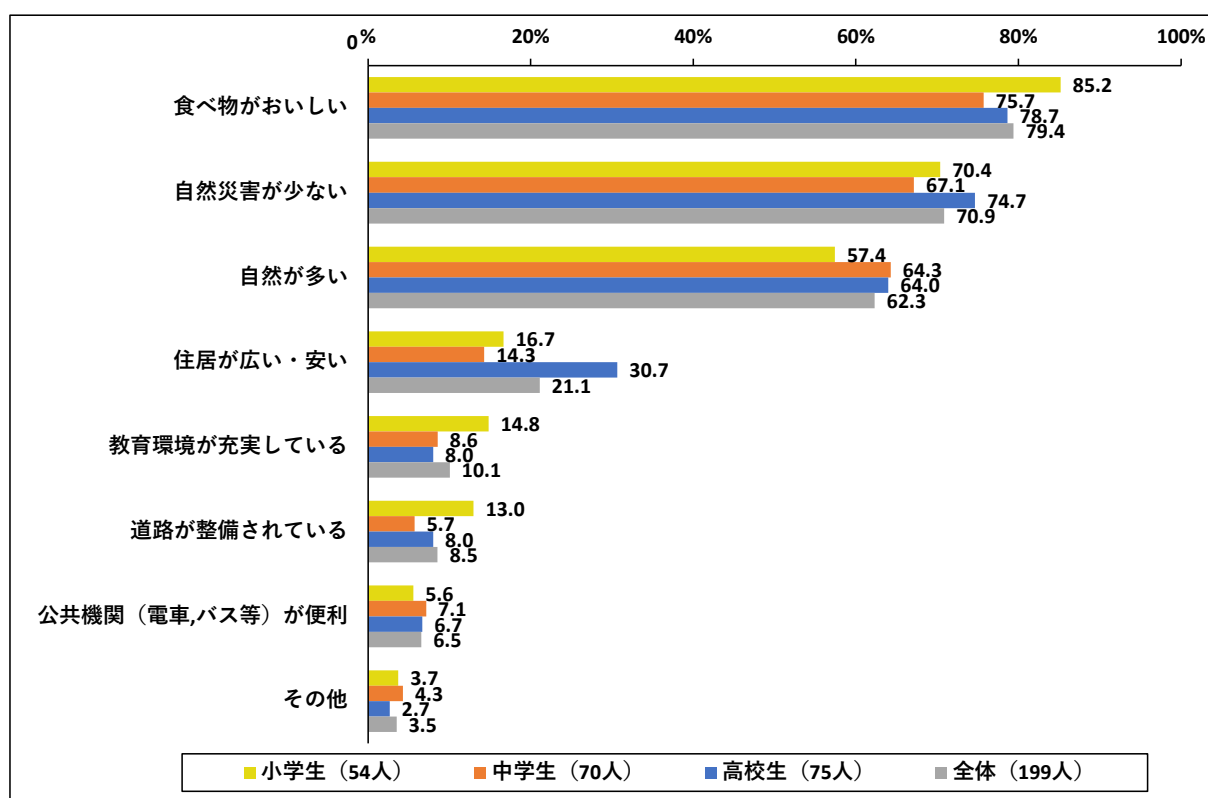
問4. あなたが、富山県にraらしてよかったと思うことは何ですか。あてはまるものをすべてに「✓」をつけてください。

全体では「食べ物がおいしい」が79.4%と最も高く、次いで、「自然災害が少ない」が70.9%、「自然が多い」が62.3%となりました。

小学生では「食べ物がおいしい」(85.2%)が、中学生(75.7%)、高校生(78.7%)と比べて高い割合になっています。

「自然が多い」は、中学生では64.3%、高校生では64.0%と6割を超えているのに対し、小学生では57.4%と、他の学年と比べて低い割合となっています。

高校生では「住居が広い・安い」(30.7%)が、小学生(16.7%)、中学生(14.3%)と比べて高い割合となっています。



その他の記述内容

小学生

- 学校の規模が小さいから、いろいろな学年と仲良くなれる
- 他のところを知らないから比べられない、満足はしているが、田舎だからお店はないと思う

中学生

- 道に迷いにくく、全体的に広々としているので、ゆったりと過ごせる
- 心が落ち着く

高校生

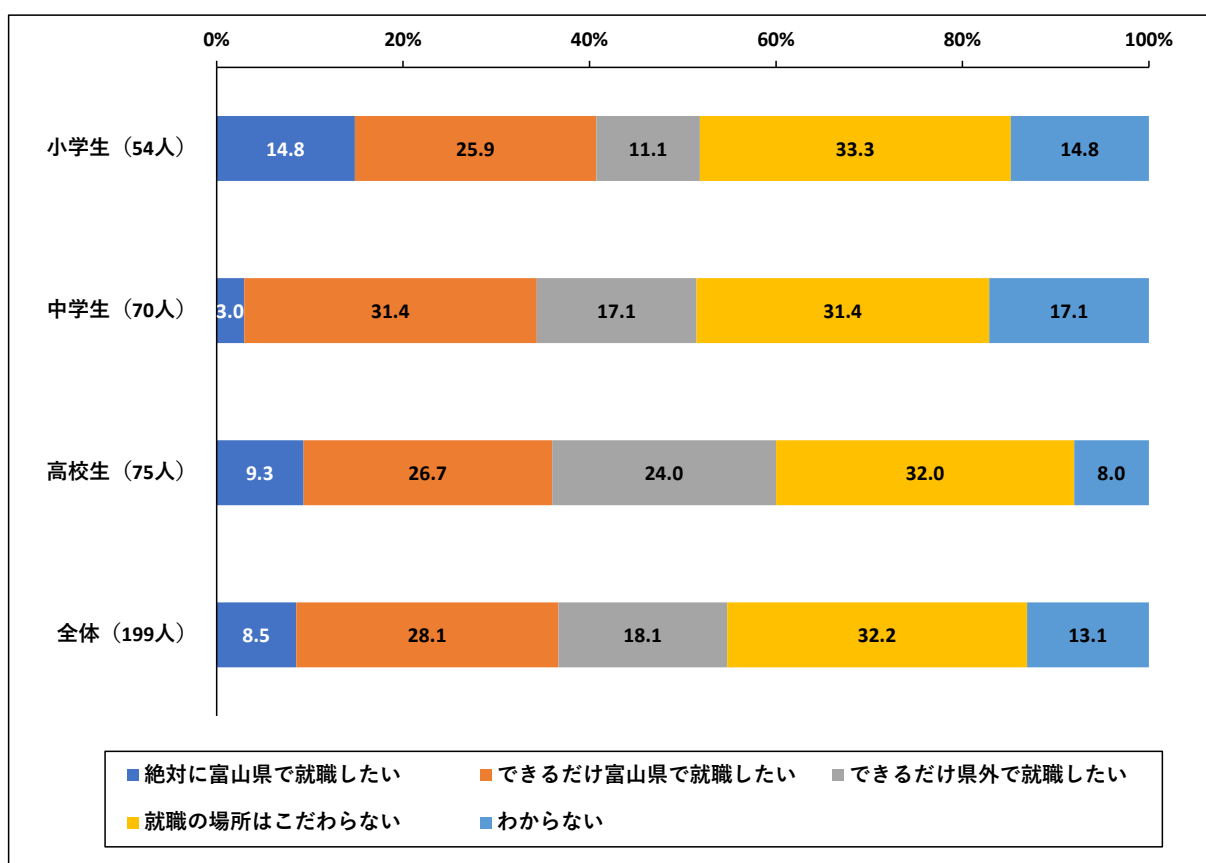
- 結構何でもあって不便はしない
- 空気がおいしい

問5. あなたは、大人になったらどこで働きたいですか。今の気持ちに一番近いものに1つ「○」をつけてください。

全体では、「就職の場所はこだわらない」が32.2%と最も高く、次いで、「できるだけ富山県で就職したい」が28.1%、「できるだけ県外で就職したい」が18.1%となりました。

「絶対に富山県で就職したい」と「できるだけ富山県で就職したい」が合わせて36.6%となっており、富山県で働きたいと思う割合は3割強という結果になりました。

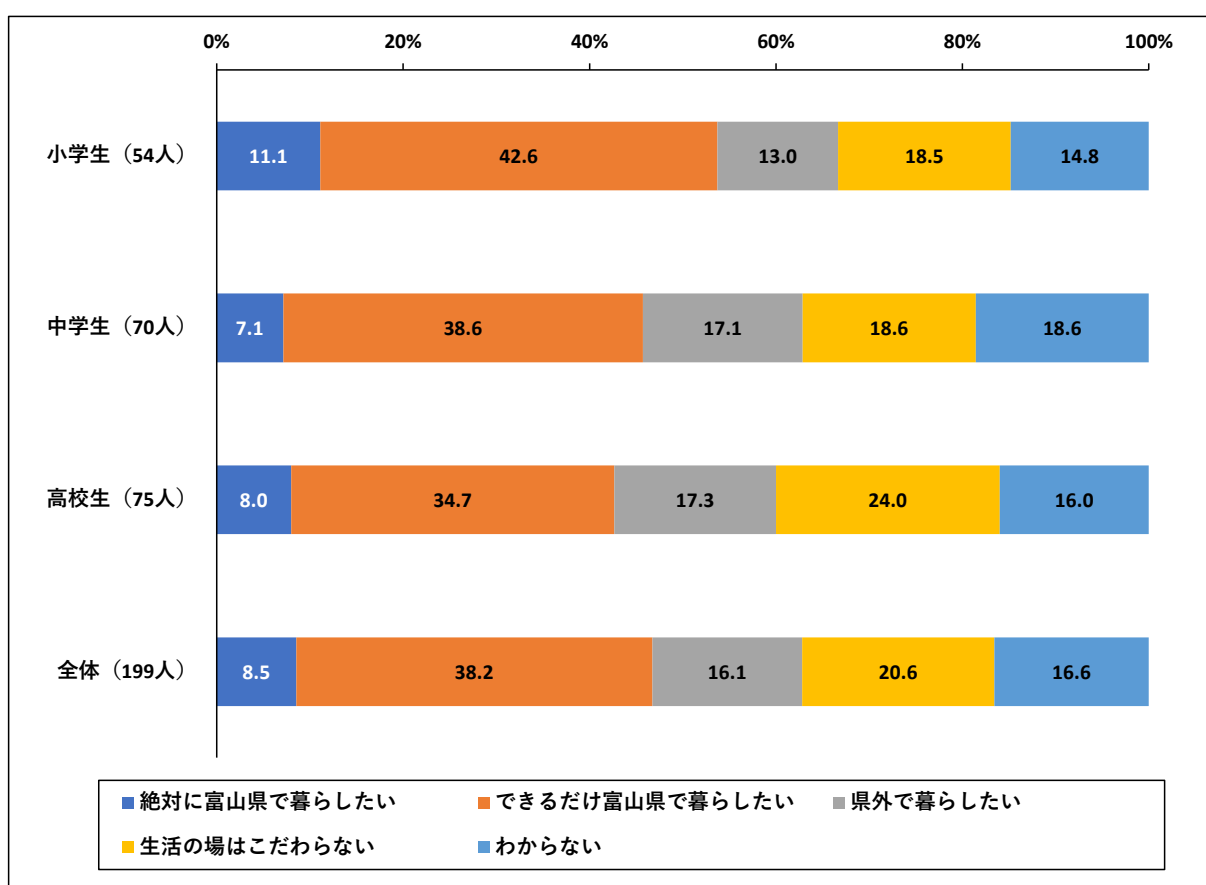
小学生、高校生では「就職の場所はこだわらない」が最も高く、小学生が33.3%、高校生が31.4%となっています。中学生では、「できるだけ富山県で就職したい」と「就職の場所はこだわらない」が31.4%と同じ割合で最も高くなっています。



問6. あなたは、大人になって、結婚し、家族ができたとき、どこで暮らしたいですか。今の気持ちに一番近いものに「○」をつけてください。

全体では、「できるだけ富山県で暮らしたい」が38.2%と最も高く、次いで、「生活の場はこだわらない」が20.6%、「県外で暮らしたい」が16.1%となりました。

「絶対に富山県で暮らしたい」と「できるだけ富山県で暮らしたい」が合わせて全体で46.7%となっており、富山県で暮らしたいと思う割合は4割強という結果となりました。また、小学生が53.7%、中学生が45.7%、高校生が42.7%と、学年が上がるほど、割合が低くなる結果となりました。



問 7. 問6で選んだ理由を教えてください。

【「絶対に富山で暮らしたい」と回答した方の理由】

小学生

- ・富山県が好きだから。(回答数：3)
- ・親と離れたくないから。(回答数：2)

中学生

- ・富山県が好きだから。(回答数：2)
- ・災害が少なく、豊かな場所だから。

高校生

- ・富山県が住みやすいから。
- ・都会に比べて空気や食べ物がおいしいから。

【「できるだけ富山県で暮らしたい」と回答した方の理由】

小学生

- ・家族と近くに居たいから。(回答数：6)
- ・自然が豊か・自然災害が少ないから。(回答数：3)
- ・食べ物がおいしいから。(回答数：3)

中学生

- ・自然災害が少ない。(回答数：5)
- ・家族のそばに居たいから。(回答数：2)
- ・食べ物や水がおいしいから。(回答数：2)

高校生

- ・住みやすい・住み慣れているから。(回答数：6)
- ・実家があり、親族もいるから。(回答数：5)
- ・子育てに適しているから。(回答数：3)

【「県外で暮らしたい」と回答した方の理由】

小学生

- ・東京に興味がある。(回答数：2)
- ・県外でも暮らしてみたい。(回答数：2)
- ・いろいろなお店や遊び場があるから。

中学生

- 富山県は交通機関こうつうきかんが不便だから。(回答数：3)
- 都会に行きたいから。(回答数：3)
- やりたい仕事が県外にしかないから。(回答数：3)

高校生

- 富山県は交通の便が悪いから。(回答数：3)
- 都会で暮らしたいから。(回答数：2)

【「生活の場はこだわらない」と回答した方の理由】

小学生

- こだわらないから。(回答数：2)
- 日本はどこも治安が良いから。
- になりたい夢の仕事が富山県には少なそうだから。

中学生

- こだわりがなく、どこでも良い。(回答数：6)
- 交通の便が良いところならどこでも良いから。

高校生

- こだわりのないから。(回答数：5)
- 考えたことがない・わからない。(回答数：3)
- 富山県で暮らす利点を感じないから。

【「わからない」と回答した方の理由】

小学生

- 行ったことがなくて知らないだけで富山県より良い県があるかもしれないから。

中学生

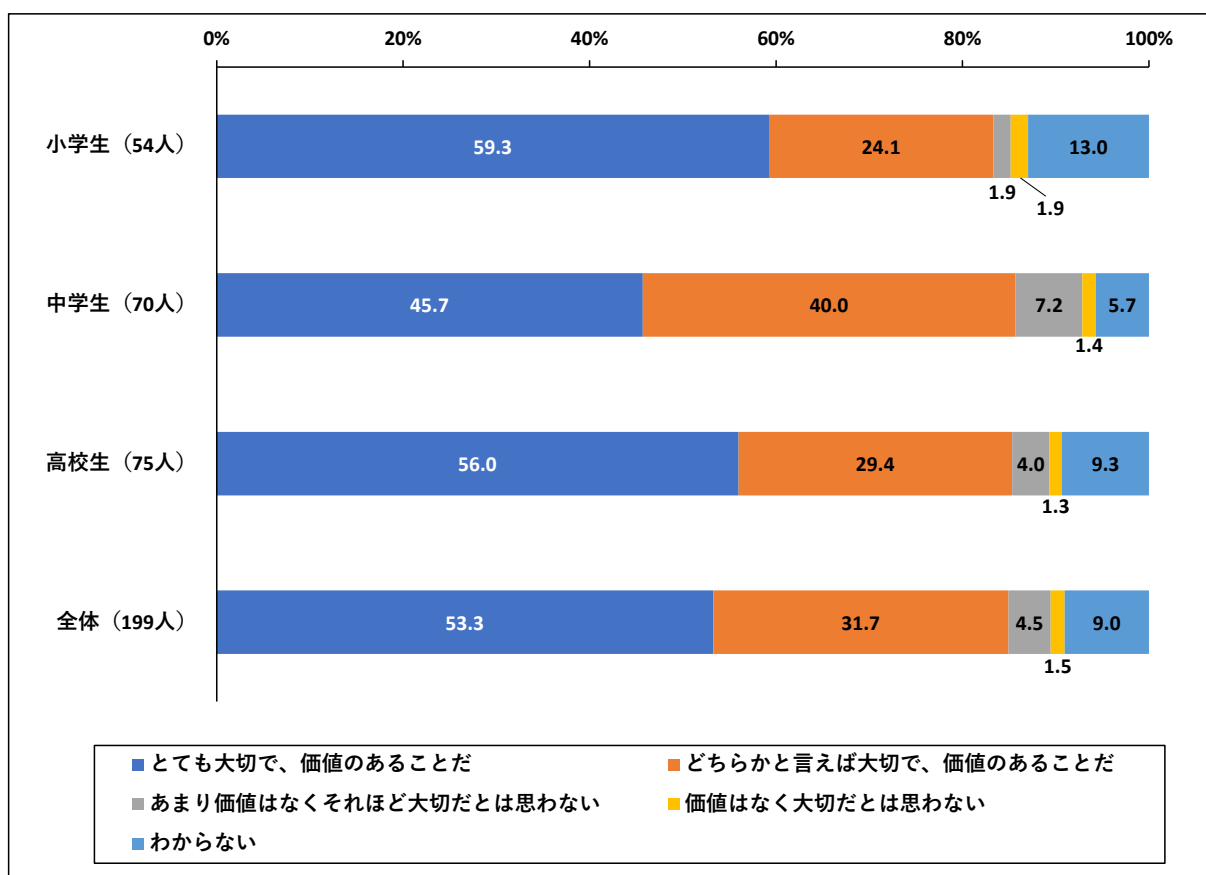
- 自分の将来の職業により、住むところが変わってくると思うから。

高校生

- 考えたことがない、わからない。(回答数：6)

問8. あなたは、周りの人が結婚して、家族ができることをどう思いますか。あてはまるもの1つに「○」をつけてください。

全体では、「とても大切で、価値のあることだ」が53.5%と最も高く、次いで、「どちらかと言えば大切で、価値のあることだ」が31.7%となりました。「とても大切で、価値のあることだ」と「どちらかと言えば大切で、価値のあることだ」が合わせて85.0%となっており、大切に価値のあることだと感じている割合は8割以上ということが分かります。学年別では、小学生が83.4%、中学生が85.7%、高校生が85.4%という結果となりました。



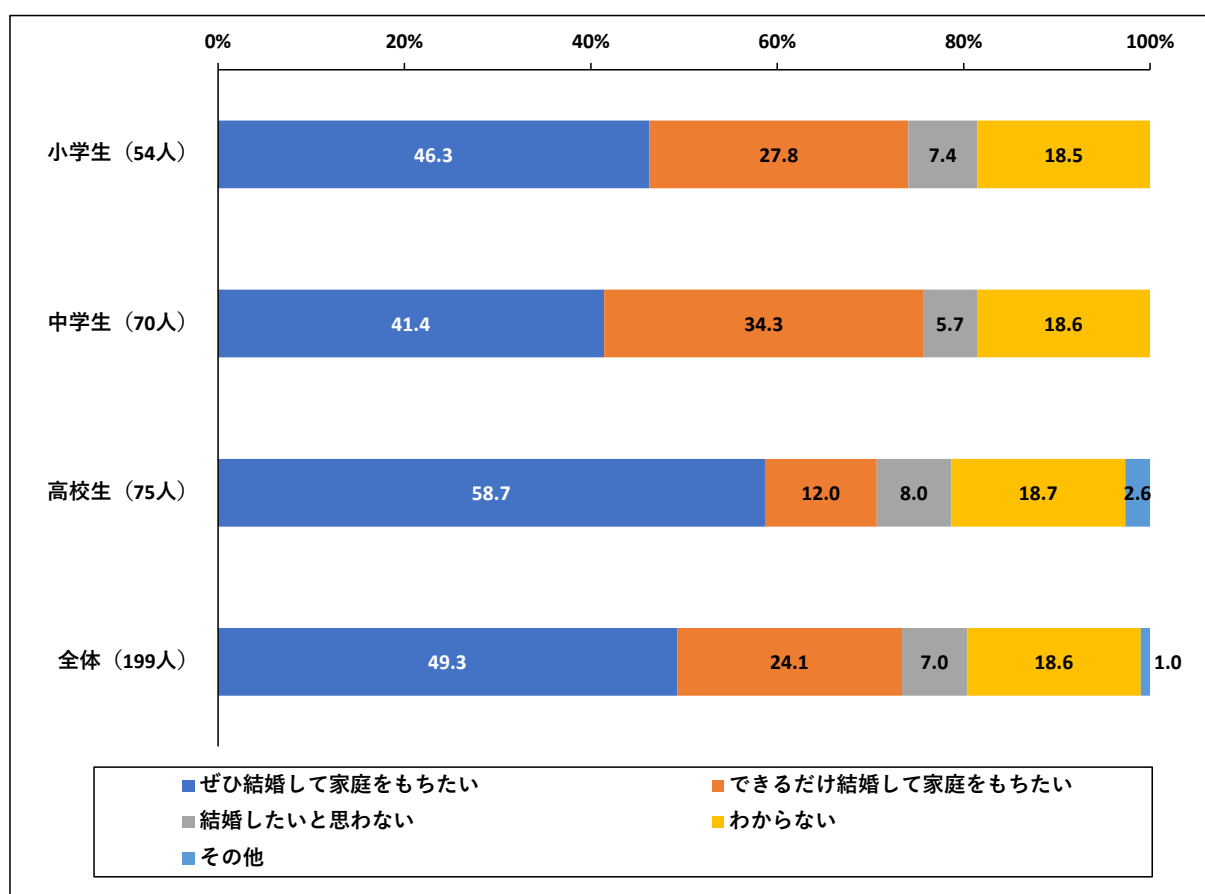
問9. あなたは、将来結婚相手としてふさわしい人が現れたときに、結婚して家族を持ちたいと思いますか。あてはまるもの1つに「○」をつけてください。

全体では、「ぜひ結婚して家庭を持ちたい」が49.3%と最も高く、次いで、「できるだけ結婚して家庭を持ちたい」が24.1%、「わからない」が18.6%となりました。

「ぜひ結婚して家庭を持ちたい」と「できるだけ結婚して家庭を持ちたい」が合わせて73.4%となっており、7割以上の子どもが結婚して家庭を持ちたいと思っていることが分かりました。

ただ、「ぜひ結婚して家庭を持ちたい」だけみると、高校生が約6割となっており、小学生、中学生より10ポイント以上高くなっています。

一方で、「わからない」は、全学年が2割近くあるという結果となりました。



その他の記述内容

高校生

- 相手と自分の都合によると思う。自分としては結婚して家庭を持ちたいと思うが、相手がそうではなかった場合はしないという判断になる。近年、家庭のあり方というものも多様化している。結婚はしていないが家庭を持っていると認識している家族も良いと思う。
- 結婚は望むが法律的にできないのが現実

問 10. 問9で選択した理由を教えてください。

【「ぜひ結婚して家庭をもちたい」と答えた方の理由】

小学生

- ・ 家族を持った方が幸せだから。(回答数：4)
- ・ 一人は嫌だ・寂しいから。(回答数：4)
- ・ 少子高齢化社会。(回答数：2)

中学生

- ・ 1人は寂しいから。(回答数：3)
- ・ 幸せになりたいから。(回答数：3)

高校生

- ・ 幸せそうだから。(回答数：11)
- ・ 家庭を持ちたいから。(回答数：5)
- ・ 結婚願望があるから。(回答数：3)
- ・ 少子高齢化のため。(回答数：3)
- ・ 子どもが欲しいから。(回答数：2)

【「できるだけ結婚して家庭をもちたい」と答えた方の理由】

小学生

- ・ 子どもが欲しいから。(回答数：2)
- ・ 家族と暮らしたいから。(回答数：2)
- ・ 少子高齢化社会。(回答数：2)

中学生

- ・ 家庭を持つことが当たり前だと思うから。(回答数：4)
- ・ ふさわしい人が居たら結婚したい。(回答数：2)

高校生

- ・ 子どもが欲しいから。(回答数：2)
- ・ 結婚することだけが幸せだと思わないから。(回答数：2)

【「結婚したいと思わない」と答えた方の理由】

小学生

- バリバリ働きたい。
- 大変そう。

中学生

- 1人で大丈夫。
- 他人と生活したくないから。

高校生

- 他人と暮らすことにストレスを感じそうだから。
- 家庭を持つことはたくさんの責任ができるので、自分には荷が重いと思うから。

【「わからない」と答えた方の理由】

小学生

- まだ子どもだから。(回答数：3)
- 考えていない。(回答数：2)

中学生

- 考えたことがない。(回答数：4)

高校生

- わからない・考えたことがない。(回答数：3)
- 一人の時間も大切だから。

【「その他」と答えた方の理由】

高校生

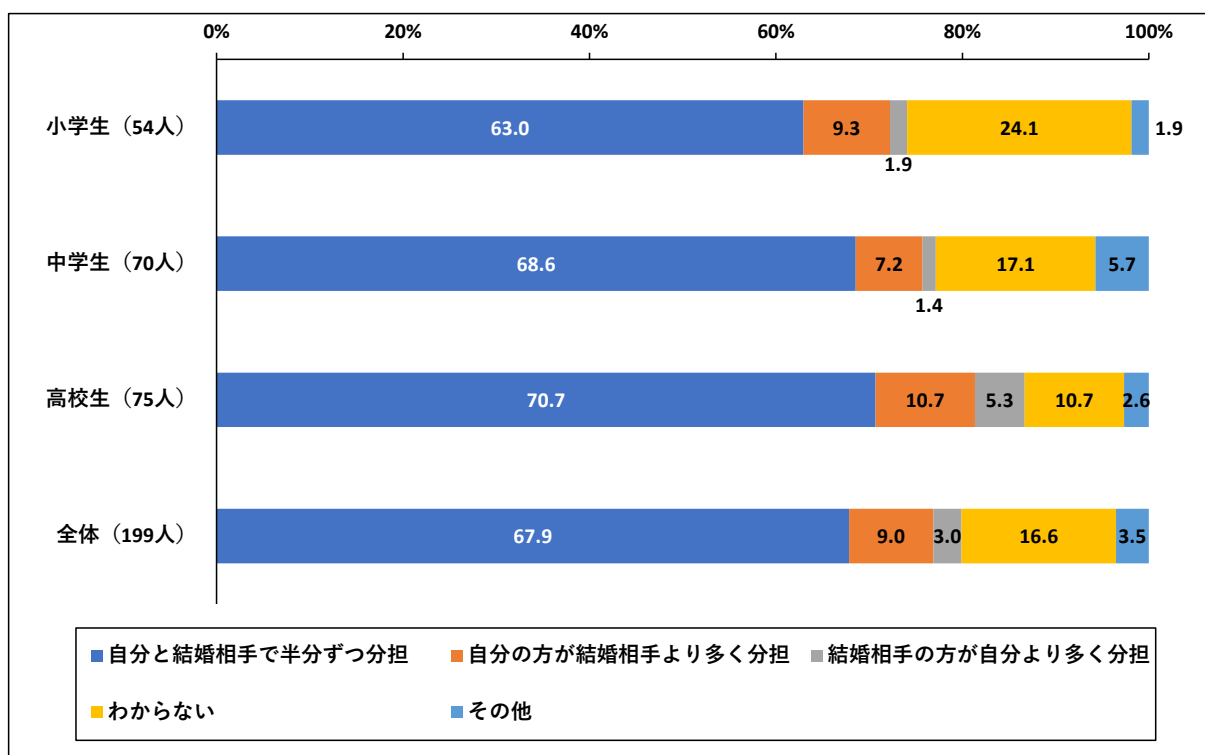
回答：相手と自分の都合つごうによると思う。自分としては結婚して家庭を持ちたいと思うが、相手がそうではなかった場合はしないという判断になる。近年、家庭のあり方というものも多様化たようかしている。結婚はしていないが家庭を持っていると認識にんしきしている家族も良いと思う。

- 多様な家庭のありかたを認めるため。

問 11. あなたが将来、家族ができたときの家事や子育ての考え方は、次のうちどれですか。
最も近いものを1つに「○」をつけてください。

全体では、「自分と結婚相手で半分ずつ分担」が67.9%と最も高く、次いで、「わからない」が16.6%、「自分の方が結婚相手より多く分担」が9.0%となりました。

「自分と結婚相手で半分ずつ分担」は、小学生が63.0%、中学生が68.6%、高校生が70.7%と、学年が上がるほど割合が高くなる結果となりました。



その他の記述内容

小学生

- ・家庭環境にもよると思う。仕事の時間や大変さもあると思う。休みの日に頑張る人や平日でできる人もいると思う。子どものために仕事はやめたらダメだと思うから協力が必要だと思う。

中学生

- ・それぞれ得意なところを担当する。
- ・仕事量に応じて。
- ・できる方がやったら良いと思う。
- ・相手と自分で一緒にためたお金で払う。

高校生

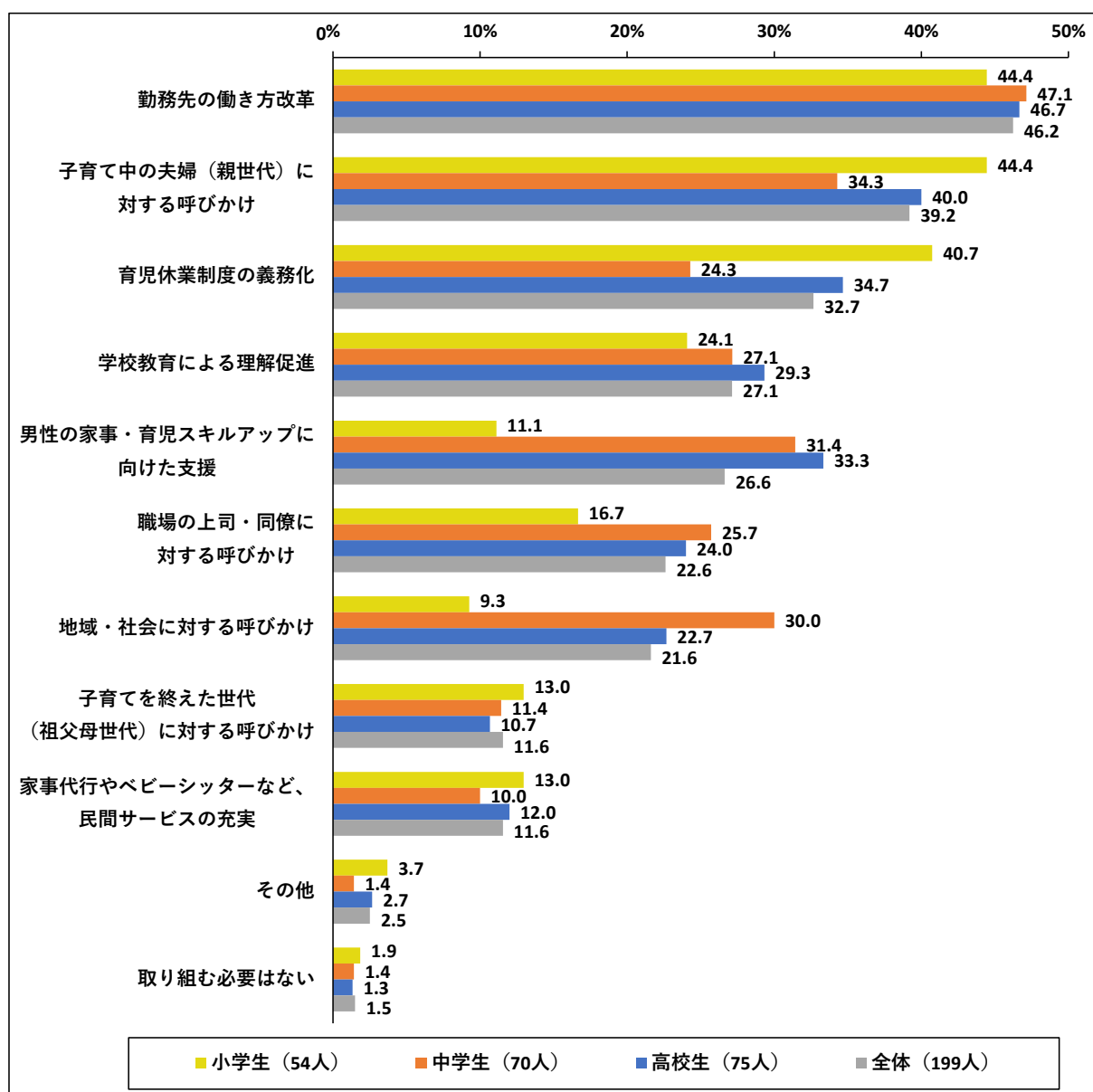
- ・相手と分担するが、無理せず家事代行やベビーシッターを利用しようと思う。
- ・半分が良いが、仕事など忙しさで変わると思う。

問 12. 富山県では、家事・子育ての時間は1日あたり女性の方が、男性よりも約4時間30分多くなっています。夫婦の間で時間を平等にするためには、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。(3つまで回答)

全体では「勤務先の働き方改革」が46.2%と最も高く、次いで、「子育て中の夫婦（親世代）に対する呼びかけ」が39.2%、「育児休業制度の義務化」が32.7%となりました。

「育児休業制度の義務化」の回答は、小学生では40.7%となっており、中学生（24.3%）、高校生（34.7%）と比べて高い割合になっています。

「男性の家事・育児スキルアップに向けた支援」の回答は、中学生では31.4%、高校生では33.3%と3割を超えているのに対し、小学生では11.1%と、他の学年と比べて低い割合となりました。



その他の記述内容

小学生

- 世の中全体的にお願いのアピールをする。
- 自分達でお互いに工夫し合って、それでも無理なことは助けてもらえるような仕組みを作る方がいい。人任せすぎるのはダメだと思う。

中学生

- それは夫婦内で考えて行くことだと思う。

高校生

- きれいごとではなく、実際に今子育て中や一般の人の現実的な意見をきちんと聞いてその方々に寄り添って助けられるような援助^{えんじょ}、政策、働きかけなどがあれば良いと思う。
- 男女平等への呼びかけ。

問 13. 富山県では、若い世代の「真の幸せ（ウェルビーイング*）の向上」を目指しています。みりよくある富山県にしていくために、どうすればよいと思いますか。あなたの意見やアイデアなど教えてください（できるだけ実現できそうなことを書いてください。）

【意見・アイデア】

小学生

- いろいろな世代が楽しめる施設が欲しい。（回答数：6）
- SNS を使って PR する。（回答数：2）
- 自分らしく好きなことをできる場所が欲しい。（回答数：2）
- 子どもから大人までみんなが楽しみを共有できる場所があれば良い。お父さん、お母さんが仕事から帰ってくるまで子どもだけでも安心して居られる場所が欲しい。
- もっと「ウェルビーイング」のことを知ってもらうために小・中学生にポスターを描いてもらう活動をする。

中学生

- 若い世代向けの商業施設等を作る。（回答数：9）
- 交通機関こうつうきかんをもっと充実させて欲しい。（回答数：5）
- 子育て環境を整えて欲しい。（回答数：4）
- 自然を活用して楽しむ施設があれば良い。（回答数：2）
- 富山県の強みをもっと磨いて発信していく。
- 大企業とコラボ。
- 動画で具体的な説明があれば良い。
- 多様化たようかを社会全体が受け入れる。
- 県が、ウェルビーイングと言う抽象的な言葉だけではなく、小学生が見てもわかるような具体的でわかりやすい言葉で示していくようにしたら良いと思う。

高校生

- 遊ぶ施設を増やして欲しい。（回答数：6）
- 子育ての支援を充実させて欲しい。（回答数：4）
- 人が交流できるイベントを開催して欲しい。（回答数：4）
- 生活に必要なお金の負担を減らして欲しい。（回答数：4）
- 交通機関こうつうきかんの充実。（回答数：3）
- 若い世代が働きたいと思える仕事と環境。（回答数：3）
- 若い世代に向けた施設を増やして欲しい。（回答数：2）
- 政策などを行う上で SNS などを多く活用し、若者層わかものそうの意見を取り入れる機会を増やす。

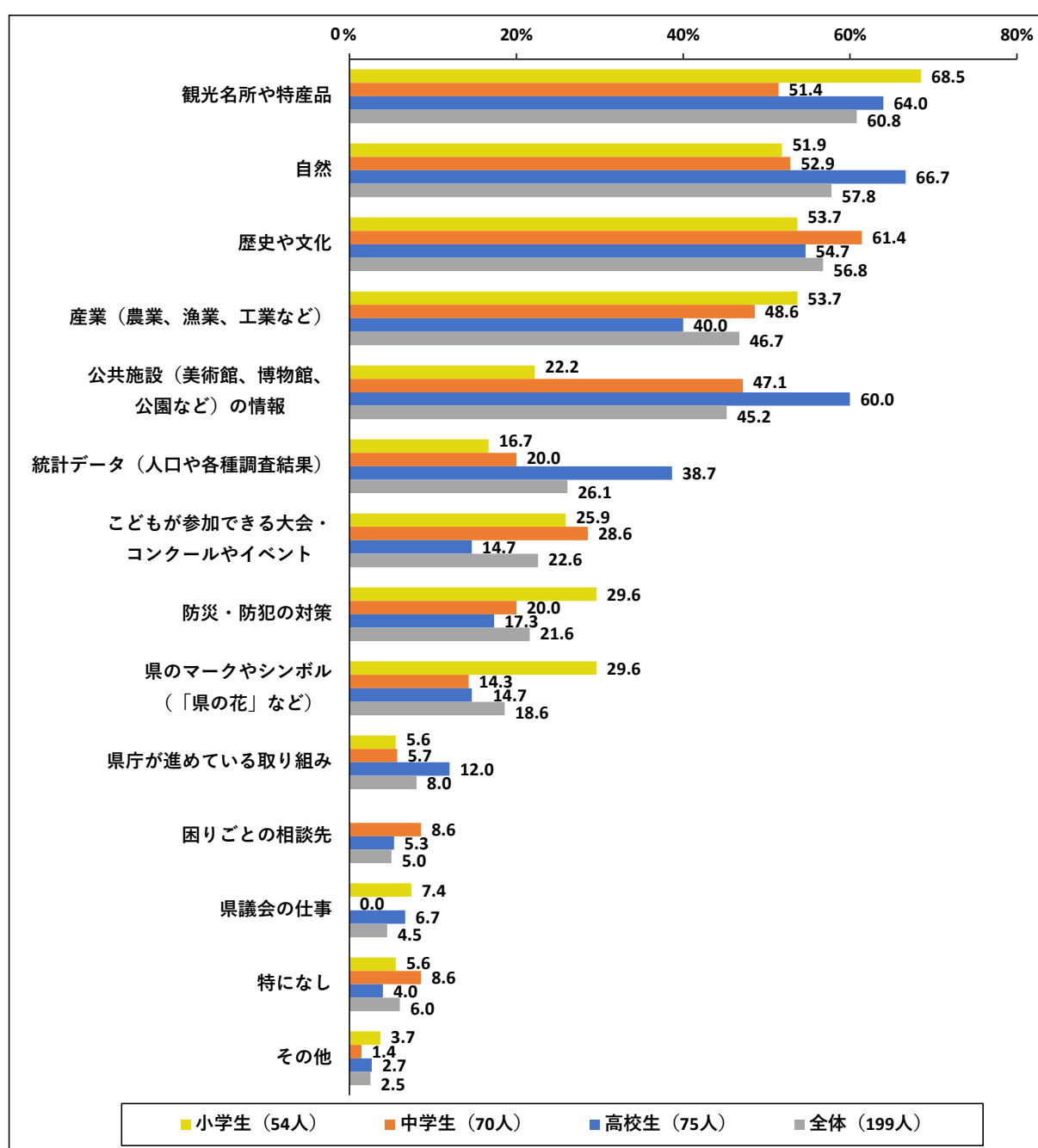
- 富山県は他の県より環境が整っており最低限の幸せは確保されていると思う。若者の幸せをさらに大きくさせる必要があるのであれば、県外を行き来するための交通機関こうつうきかんを活性化させ、情報通信技術の発展促進や観光資源をうまく活用することが必要であると感じる。
- 子どもは夫婦 2 人で育てていくもので、男性だけとは言えないが育児休業等、女性がもっと休みを取りやすい環境を作っていくべきだと思う。

問 14. あなたがこれまで、富山県に関することでインターネットで調べたことがあることに「✓」をつけてください。(あてはまるものすべて)

全体では「観光名所や特産品」が60.8%と最も高く、次いで、「自然」が57.8%、「歴史や文化」が56.8%となりました。

「歴史や文化」の回答では、中学生では61.4%となっており、小学生(53.7%)、高校生(54.7%)と比べて高い割合になっています。

高校生では「自然」(66.7%)、「公共施設(美術館、博物館、公園など)の情報」(60.0%)が6割以上と、小学生、中学生と比べて高い結果となりました。



その他の記述内容

小学生

- 方言
- 伝統工芸品

中学生

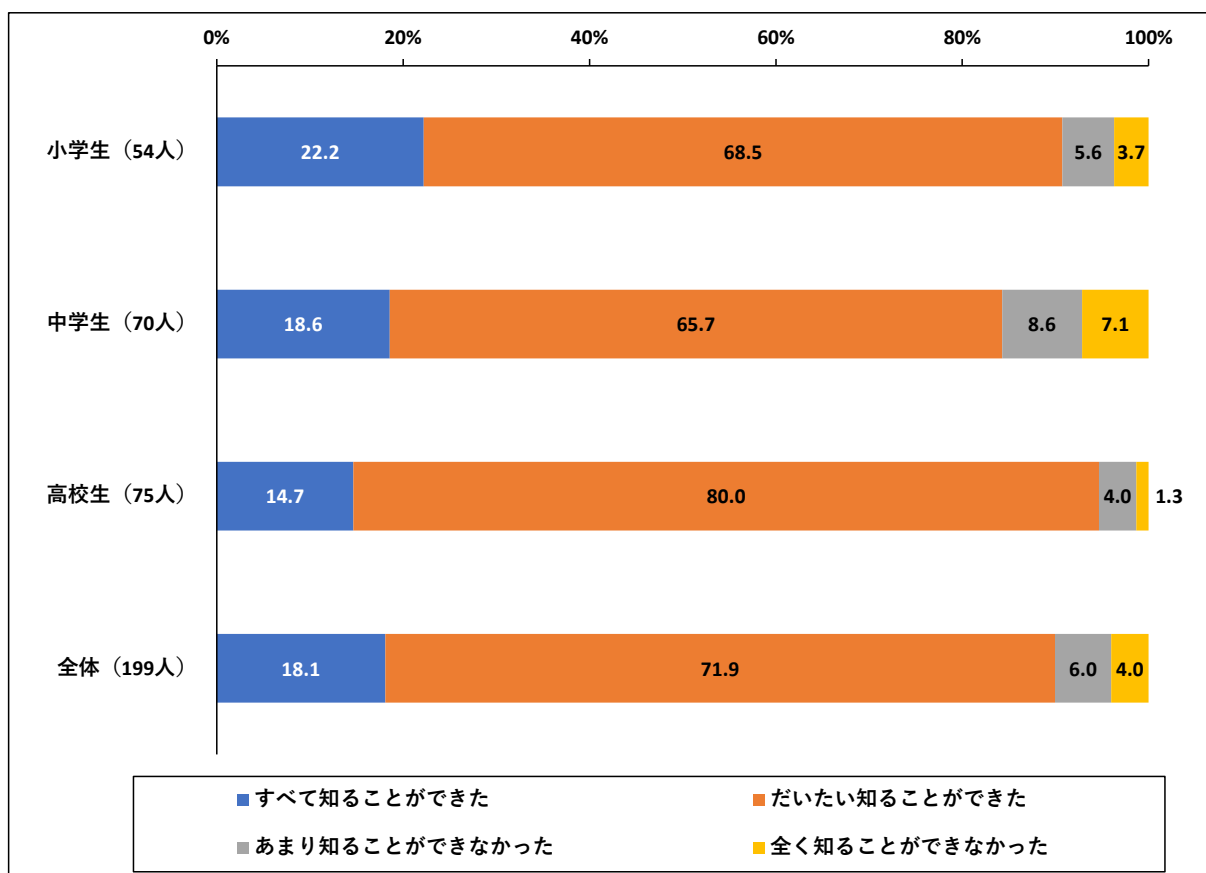
- 高校について
- コロナ感染者

高校生

- 新しく作られる商業施設について(射水市の本開発に何ができるのかなど)

問 15. 問 14 のことを調べたとき、知りたかったことはすべて知ることができましたか。

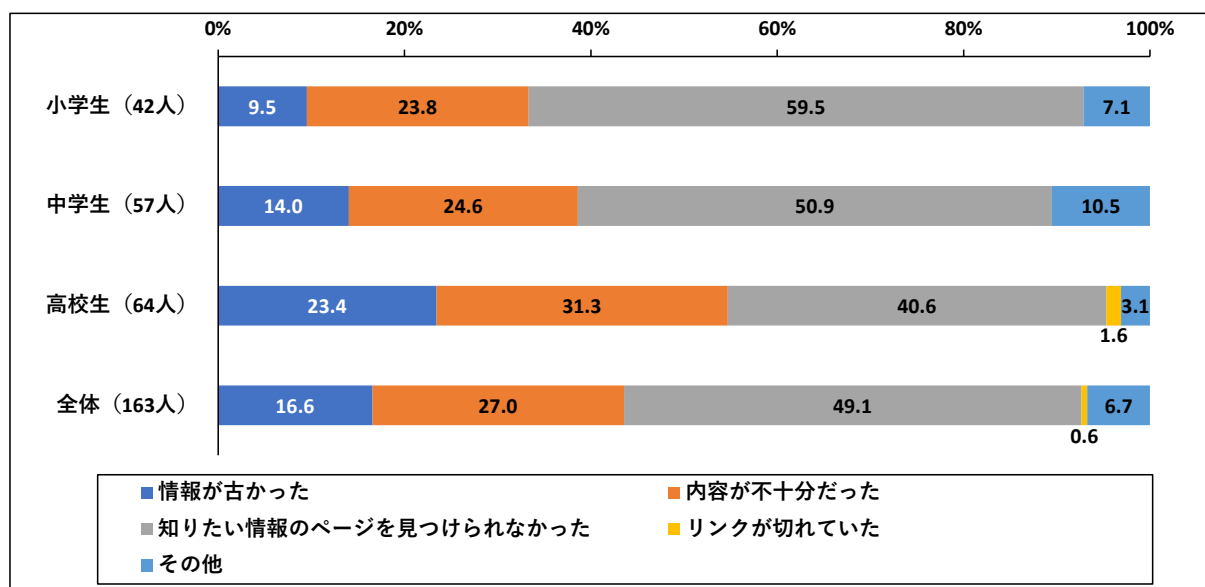
全体では、「だいたい知ることができた」が71.9%と最も高く、次いで、「すべて知ることができた」が18.1%となりました。「すべて知ることができた」と「だいたい知ることができた」合わせて90.0%と高い割合となっています。学年別では、小学生が90.7%、中学生が84.3%、高校生が94.7%という結果となりました。



問 16. 問 14 で「2.だいたい知ることができた」「3.あまり知ることができなかった」「4.全く知ることができなかった」を選んだ方にお聞きします。すべて知ることができなかった理由は何ですか。(あてはまるもの1つ)

全体では、「知りたい情報のページを見つけられなかった」が 49.1%と最も高く、次いで、「内容が不十分だった」が 27.0%、「情報が古かった」が 16.6%となりました。

全学年、「知りたい情報のページを見つけられなかった」が最も高い割合となる結果となりました。



その他の記述内容

小学生

- ・調べていない
- ・調査不足
- ・パソコンの使い方が分からなかった

中学生

- ・調べていない 他2件
- ・複数の情報があり、正解がわからなくなった。また、自分が求めている完璧な回答が見つからなかった
- ・情報量が多いので、全部は見つけれなかったかもしれないと思うから
- ・知りたい情報が大人向けであまり理解できなかった。また、知りたい情報がのっていない

高校生

- ・途中で見るのをやめた
- ・よくわからなかった

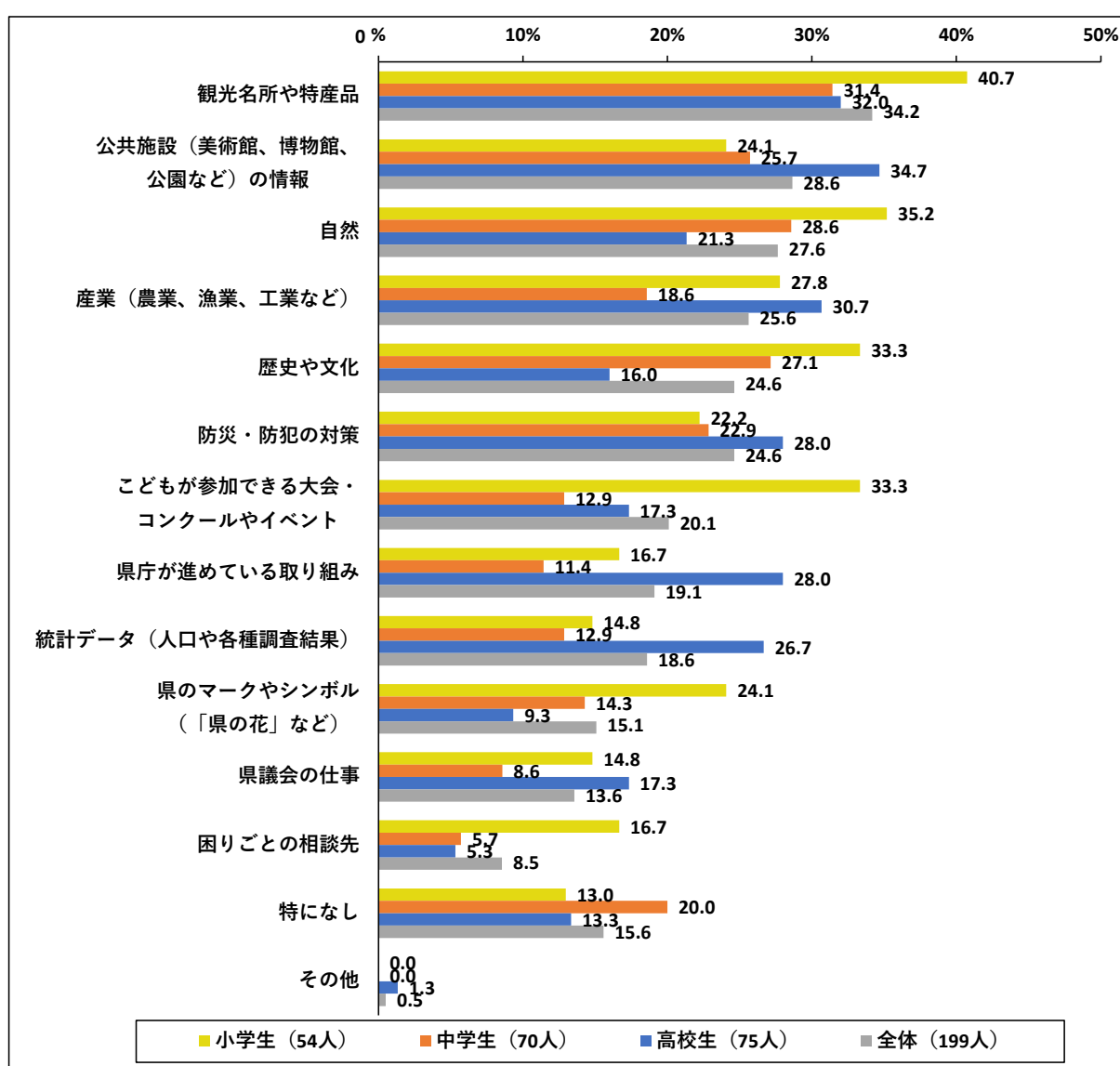
問 17. 今後、詳しく知りたいと思う内容に「✓」をつけてください。

(あてはまるものすべて)

全体では、「観光名所や特産品」が34.2%と最も高く、次いで、「公共施設（美術館、博物館、公園など）の情報」が28.6%、「自然」が27.6%となっている。

小学生では「観光名所や特産品」が40.7%と4割以上と、中学生（31.4%）、高校生（32.0%）と比べて高くなっています。

高校生では「公共施設（美術館、博物館、公園など）の情報」が34.7%と3割を超えており、小学生（24.1%）、中学生（25.7%）と比べて割合が高い結果となりました。



その他の記述内容

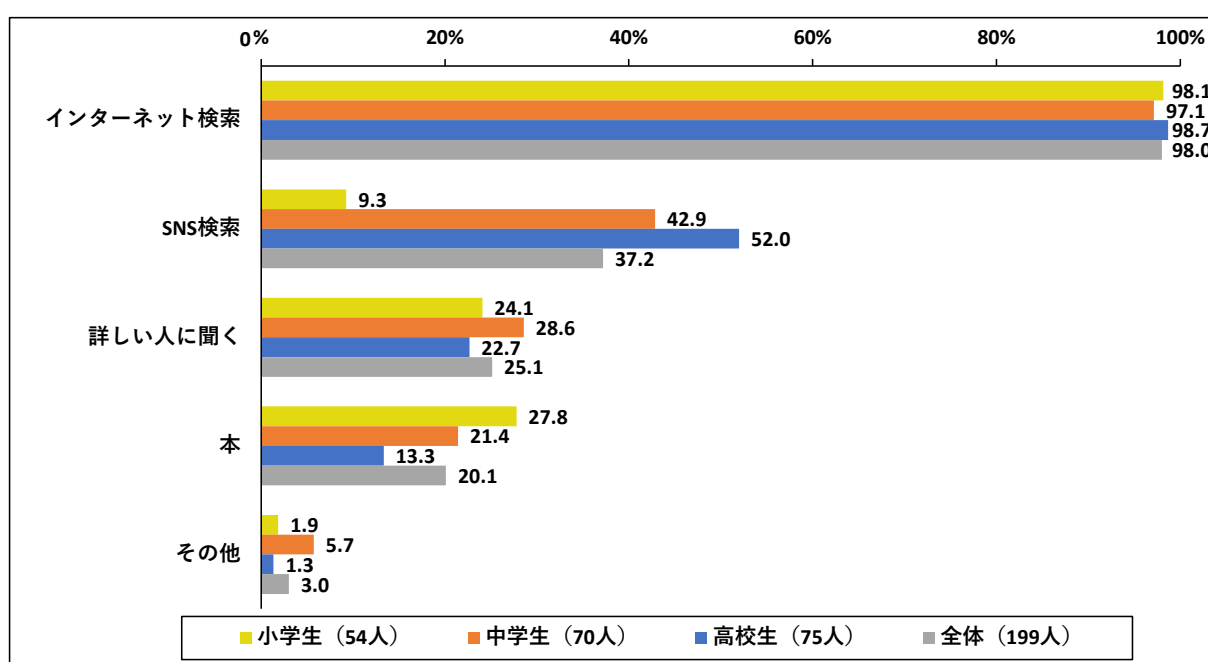
高校生

- ・ボランティア活動

問 18. いつも、気になることや知りたいことがあったときにどうやって調べますか。
 (あてはまるものすべて)

全体では、「インターネット」が98.0%と最も高く、次いで、「SNS検索」が37.2%、「詳しい人に聞く」が25.1%となりました。

「SNS検索」が、中学生42.9%、高校生52.0%と5割前後となっているのに対し、小学生は9.3%と1割弱となっています。中学生、高校生の約半数が調べものの検索にSNSを使用している結果となり、日常的に使用していると考えられます。一方で、小学生はSNSを日常的に使用していないことがわかります。



その他の記述内容

小学生

- ・詳しい人を教えて欲しい

中学生

- ・祖父母や親に聞く
- ・自らの足でその場に行く
- ・新聞
- ・テレビ

高校生

- ・周りの人に聞く

問 19. 富山県庁のホームページの中にある、キッズページ「知ってなるほど！とやまけん」
 (<https://www.pref.toyama.jp/kensei/kenseiunei/kensei/naruhodo/index.html>) を知っていますか。

全体では、「知らない」が93.5%と9割以上の子どもが知らないという結果となりました。
 「知らない」は、小学生が96.3%、中学生が94.2%、高校生が90.7%と、学年が下がるほど、割合が高くなるという結果となりました。

